

# NPO 法人会計における課題と展望

企業会計との統合化を中心に

## 【目次】

序章	第四章 営利企業会計の分析
第一章 非営利法人の全体像	第一節 我が国における営利企業会計の目的
第一節 非営利法人の分類	第二節 我が国における営利企業の会計基準の考察
第二節 非営利法人の各事業主体及び根拠法令	第三節 IAS 対応をめぐる我が国の現状と課題
第二章 非営利法人の中の NPO 法人	第五章 米国における NPO 法人会計と営利企業会計
第一節 NPO 法人とその使命	第一節 NPO 法人の財務報告目的
第二節 我が国における NPO 法人の歩み	第二節 NPO 法人会計と営利企業会計の比較と統合化 について
第三章 NPO 法人の会計の分析	第六章 NPO 法人会計の課題と展望
第一節 NPO 会計の財務報告目的とあり方	第一節 NPO 法人会計における課題
第二節 NPO 法人の会計	第二節 NPO 法人会計の今後のあり方
第三節 NPO 法人の会計基準の考察	終章
第四節 会計業務の流れ	

## 【目的】

NPO 法人は国の特別法により定められており、一般企業(営利企業)とは根本的な部分から異なっている。例えば経営をしていく上で、利潤を追求しない事が挙げられる。近年では、日本の NPO 法人は飛躍的にその数を増し、その形態や規模も多様化する一方であるといえる。本論文では、そんな NPO の発足した経緯及び発展の経過を歴史とともにたどると共に、会計的視点から株式会社等の営利企業及び NPO 法人について比較検討しそのあり方を考察したい。また、IAS 及び FASB のデータをもとに、我が国が世界基準の変化に対しどのような対応を取っているのかを考察したい。それらを含め、最終的に NPO 法人会計の今後のあり方について考えていきたいと思う。

## 【方法】

関連文献や統計資料、内閣府を始めとする各省庁及びその他ホームページを中心に情報を収集し、現状分析と課題についての考察をおこなった。

## 【結果】

わが国の公益法人等の現状を鑑みれば、あるいは、出来る限り所轄官庁の影響力を排除しようとする NPO 法の立法の意図を尊重するならば、そのような統一的な NPO 会計の実現は、NPO 法人自身の自主的な活動に期待する他は無いらう。しかし現状を見る限りでは、NPO 法人会計に対する法整備が甘く、どんな例外も通ってしまうと言っても過言では無い状況である。この状況を打開するには、今後 IAS / FASB 基準を更に取り入れ、国内の公益法人に対する統一的な基準を作り、監査の目が行き届きやすい環境を作るのが優先事項ではないかと私は考える。やむをえない場合は行政の介入も仕方ない状況なのではなからうか。今後 IAS 及び FASB による、営利企業会計及び NPO 法人会計の統合化がさらに進むことは明確である。それに乗り遅れないためにも、国内の NPO 法人会計をまずは FASB の基準に近づけることが必要だと思う。

## 【参考文献】(一部のみ掲載)

- ・平松 一夫・広瀬 義州『FASB 財務会計の諸概念』中央経済社、1994 年 5 月 30 日、改訂新版発行
- ・平松 一夫・徳賀 芳弘『会計基準の国際的統一』中央経済社、2005 年 10 月 5 日
- ・中田 ちず子・橋本 鏡子『NPO 法人の会計と税務』税務研究会出版局、2006 年 6 月 30 日改訂版
- ・みずす監査法人 『国際財務報告基準ハンドブック』中央経済社 2006 年 11 月 10 日、第 2 版発行
- ・FASB(Financial Accounting Standards Board)HP URL : <http://www.fasb.org/>